

平成29年度第1回下野市総合計画審議会が出された意見・提言に対する回答等について

### 1. 基本目標（数値目標）に関するもの

基本目標	②「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	数値目標「転入者数」の実績値が2,309人（平成27年度）、2,276人（平成28年度）となっているが、東京圏からの転入者ではないのではないか。
担当課	総合政策課
回答・対応	市民課から情報の提供を受け、東京圏（東京、神奈川、千葉、埼玉）からの転入者の統計を取り、この数値を増やしていくことを目標にした新たな数値目標を設定します。

既に設定されている「転入者数」の目標値と整合性を図りながら、数値目標として新たに「東京圏からの転入者数」を下記の通り、設定する。

基本目標②「東京圏からの新しいひとの流れをつくる」						
数値目標	基準値	実績値				目標値 平成31年
		平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	
転入者数	2,319人	2,309人	2,276人			2,550人
【数値目標の説明】 合併以来9年間の転入者の平均が2,470人であるのに対し、直近の2年間は2,300人台で推移しているため、毎年度2%の転入者増を目標に、5年後、10%の転入者増を目指す。	平成28年(1月～12月)の転入者(日本人)は2,276人であり、33名減となった。					
東京圏からの転入者数	468人	479人	443人			510人
【数値目標の説明】 直近5年間の東京圏(東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県)からの転入者数を勘案し、東京圏からの転入者数を増加させることを目標とする。	東京圏からの転入者数(日本人)は微減傾向にあるが、転入者数に占める東京圏からの転入者はおおむね20%前後で推移している。					
観光入込客数	252万人	284万人	247万人			277万人
【数値目標の説明】 市内観光施設・イベントへの来訪者数(観光庁の観光入込客数)。	平成28年(1月～12月)の観光客入込数は247万人で前年比87%であった。道の駅しもつけの入込数が211万人(前年比82.9%)と伸び悩んだことに加え、天平の花まつりは、天候不順により19万7千人(前年比94.7%)と減少した。【平成28年栃木県観光客入込数推定調査結果(平成28年1月～12月)より】道の駅や各市内の施設、イベント等との連携を検討しながら、観光入込客数を伸ばしていきたい。					

基本目標	③「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」 数値目標「合計特殊出生率」
委員名	出口委員
意見・提言内容	総合戦略に対する議会からの提案では、ゼロ回答であったが、平成 31 年度の目標値である 1.60 を達成するためには、やはり現金給付が有効と考える。出産祝い金等の現金給付を再度、検討すべきである。
担当課	こども福祉課
回答・対応	<p>県内の状況を調べましたところ、既に 6 か月以上お住まいの方で出産の 2 人目以降に 3 万円支給するところや、おむつ・授乳関連用品の金券やファミリーサポート・センター利用券を支給するなど、定住化や子育て支援のための工夫がなされたものとなっていました（詳細は別紙のとおり）。</p> <p>当市においては、お母さんへの感謝状や育児ママパパリフレッシュ利用券の交付により、子育てしやすい街づくりに寄与しているところでございます。</p> <p>20 万円以上の出産支援金の再検討につきましては、今後、費用対効果や合計特殊出生率の増加につながっているのかなどの情報収集をして参りたいと考えております。あわせて、第 3 子以降の祝金給付についても検討を進めて参りたいと考えております。</p>

基本目標	④「安心なくらしを守り幸せを実感できるまちをつくる」 (ウ) 障がい者(児)とともに生きる環境づくり
委員名	伊沢委員
意見・提言内容	現在車いすを使い小学校に通う生徒がいる。中学校に進学するにあたり、市内の中学校が車いすに対応していないため、このままだと他の市町村への引越しも検討しなければならない状況である。中学校での車いす対応を検討してほしい。
担当課	教育総務課
回答・対応	<p>学校施設は、多くの児童・生徒が利用する学習や活動の場であり、子どもたちにとって安全・安心で快適に学習できる環境を整備する必要があると考えております。</p> <p>本市におきましては、市内16の小・中学校に数多くの施設が配置されており、いずれの施設も老朽化が進んでいることから、国の補助事業を活用しながら、順次、改修等に取り組んでいるところであります。</p> <p>改修を行う際には、学校からの要望等も踏まえながら、計画・設計の段階からバリアフリー化も視野に入れ取り組んでいるところであり、エレベーターや障がい児のための階段昇降機の設置等をはじめ、様々な検討を重ねながら、対応をしているところであります。</p> <p>エレベーターの設置につきましては、引き続き、国の補助事業を活用しながら、障がいをお持ちになった児童・生徒が学校生活に支障を来たすことが無いよう、学校やご家族と協議等を行い、子どもたちにとってより良い施設となるよう、検討を進めてまいります。</p>

## 2. 重要業績評価指標（KPI）について

KPI	2 空き店舗奨励金等活用件数 6 創業資金利用件数
委員名	島田委員
意見・提言内容	①これらの制度を活用して起業した店舗などが営業を継続しているのか、追跡調査を行い、評価分析シートに記載をしてほしい。 ②創業に関して奨励金や補助、貸し付けを行い支援することも大事だが、その後も継続して営業を続けていけるような支援（フォロー）をお願いしたい。
担当課	商工観光課
回答・対応	① 空き店舗奨励金、まちなかりフォーム補助制度を活用した事業者については、事後調査を実施し、年度別活用件数と営業継続件数を表として追加いたします。 ② 創業後の支援については、運転資金や設備資金などの低金利の中小企業融資制度や信用保証料に対する補助制度など各種支援を行っております。営業継続については、経営指導を実施している商工会や県産業振興センターなどの関係機関と連携しながら支援していきたいと考えております。

KPI	3 駅前広場事業実施箇所数
委員名	鈴木委員
意見・提言内容	①水やりが十分に行われていないため、花がすぐに枯れてしまっている。駅前のプランター設置はとても良いことだが、その後の水やりも行ってほしい。 ②駅の外にあるトイレは、便器は掃除されているが、それ以外が汚れているので、トイレ全体（床、壁等）を掃除してほしい。
担当課	①商工観光課 ②建設課
回答・対応	① JR 3 駅での花いっぱい事業は、小金井駅前には下野市商工会、自治医大駅前にはシルバー人材センター、石橋駅前には石橋商工会にそれぞれに事業を委託していることから、花への水やりについて、委託先へ指導します。 ② 駅外トイレにつきましては、2日に1回の頻度で定期的に清掃を実施しています。「便器以外が汚れているので、トイレ全体（床、壁等）を掃除して欲しい。」とのご意見につきましては、清掃方法等について検討しながら、定期清掃でも解消しない場合は、専門業者を入れるなど検討し、利用者の皆様に気持ちよくご利用いただけるよう努めていきたいと考えております。

KPI	8 ICT 講座参加者数
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	この講座を受講したことにより、就業につながったのか。それともすでに就業中の方のためのスキルアップを目的とした講座なのか。
担当課	商工観光課
回答・対応	<p>ICT 講座は商工業者を対象とした事業です。従って、市内の商工業者及びその事業所の職員が対象となっています。</p> <p>【主な受講内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページ作成</li> <li>・Facebook での広告、記事投稿</li> <li>・集客のためのLINE@、SNS活用</li> <li>・エクセル（給与計算、管理台帳、作業報告書作成）</li> </ul>

KPI	11 本場結城紬展示会開催回数
委員名	島田委員
意見・提言内容	「雇用・就業機会の拡充」という項目の中に設定されているが、展示会の開催が、雇用・就業機会の拡充に直接つながるとは思えない。このKPIを結城紬に関する雇用を増やす新たな指標に変更するか、もしくは、基本目標②の中の「魅力あふれる『観光のまちづくり』」という項目に移し、結城紬のPRという意味での観光に関するKPIとすべきである。
担当課	商工観光課
回答・対応	<p>市内の結城紬の現状は、市本場結城紬振興協議会会員が6名で、高齢化により会員も減少しています。</p> <p>また、実際に結城紬にかかわる仕事をしている人は、織元1名、織子3名で、後継者として家業の手伝いを始めた織子が1名というのが現状であり、市内の結城紬の技術を継承していくのも難しい状況にあります。</p> <p>このような状況を鑑み、委員ご指摘のとおり、基本目標②の中の「魅力あふれる『観光のまちづくり』」という項目に移し、結城紬のPRという意味での観光に関するKPIとしたいと考えております。</p>

KPI	11 本場結城紬展示会開催回数
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	結城紬の振興策として、経済建設常任委員会において以前、議員から提案のあった「引退された担い手が使わなくなった織機を活用できないか。研修を終えた研修生に使ってもらえないだろうか。」という意見に対し、商工観光課長は「検討する」と答えたが、現在どのような状況か。
担当課	商工観光課
回答・対応	<p>栃木県産業技術センター紬織物技術支援センターでは、毎年、紬織物製織伝習生を募集し織子の育成に努めています。</p> <p>平成29年度において、市内の方1名が入所されましたが、残念ながら途中でやめてしまいました。</p> <p>一方、市本場結城紬振興協議会の会員の中には、織機を寄付したいと申し出られた方もおり、しもつけ風土記の丘資料館に展示・保管されている物は寄付されたものです。会員の中には、織機を寄付したいと考えている方もおりますので、伝習生として研修を修了した方にはご案内していきたいと考えております。</p>

KPI	12 新メニューの提供数
委員名	佐間田委員
意見・提言内容	かんぴょうには、妊婦さんに不足しがちなカルシウムや鉄が多く含まれている。かんぴょうを売り出すのであれば、この点に着目し、妊婦さん向けの雑誌への掲載や健康増進課などの窓口でのPRを行ってはどうか。
担当課	農政課
回答・対応	<p>かんぴょうの栄養価が高いことから、この10月より出産後の女性に対して健康増進課窓口でかんぴょうとレシピの配付を開始しました。</p> <p>ご指摘のとおり、妊婦さんにも良い食材であることから、妊婦さんに限らず広くかんぴょうの成分と食材としての良さをPRしていきます。</p> <p>なお、地元農産物普及事業で実施した「かんぴょうサミット」による新メニューの開発を受けて、食の専門誌「料理通信」や伝統野菜情報ブログ「江戸東京野菜通信」などで、かんぴょうの新メニューが紹介されました。</p>

KPI	17 新規就農者数（年間）
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	新規就農希望者（特に若手）の掘り起こしを実施するとあるが、具体的にはどのようなことを行うのか。
担当課	農政課
回答・対応	<p>J Aおやま、J Aうつのみやはじめ下都賀農業振興事務所より新規就農相談の情報を得るほか、若手の就農者の団体である4 Hクラブのクラブ員による呼びかけ、情報を収集しています。</p> <p>また、営農効率を上げるために生産基盤となる土地改良事業を推進し就農意欲の高揚を図るほか、農業機械設備等の購入に対しての補助を行い新規就農しやすい環境を整えています。</p> <p>新規就農者の農業経営の安定を図るため、経営開始型給付金のPRを行っています。</p>

※参考：評価分析シート（平成29年度）

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
17	新規就農者数(年間)	8人	8人	8人	9人	9人	10人
	実績値		4人 7人	7人			
	(独立自営又は親元就農等で新たに農業を開始した年間農業者数)	達成度	G B	B			
	平成28年度の取組と実績値の分析及び今後の取組	平成28年度の実績は7人であり、前年度と同数の結果となった。目標値を達成できるよう今後も新規就農希望者(特に若手)の掘り起こしを、県農業振興事務所と情報を共有し実施していく。					
	担当課	農政課					

KPI	22 土地区画整理事業整備面積
委員名	小島委員
意見・提言内容	石橋駅周辺土地区画整理事業の進捗が止まってしまっているようである。開始からだいぶ月日が経過しているので、進めてほしい。
担当課	区画整理課
回答・対応	<p>小山栃木都市計画事業石橋駅周辺土地区画整理事業は、昭和63年12月に事業計画決定を受け、施行面積5.5ha、事業費9億7,500万円の事業です。</p> <p>平成28年度末の事業費ベースでの進捗率は約88.0%となっております。</p> <p>現時点で一部地権者の合意形成が得られていない状況ですが、各地権者に対し、換地計画や移転補償について個別説明を積極的に行い、理解及び同意が得られるよう精力的に交渉を重ねながら早期の事業完了に向けて事業を推進してまいります。</p>

KPI	24 新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	①評価分析シートには、「制度が充実したことをPRしたい」と記載があるが、具体的にどのようにPRしていくのか。 ②シティプロモーション専用サイトなどにも掲載すべきである。
担当課	①都市計画課 ②総合政策課
回答・対応	①本年度から従来の家庭菜園整備に加え、東京圏からの定住を目的に住宅の新築及び取得に際し、市の単独事業として40万円の補助（中学生以下の子どもがいる場合、1人につき、10万円の加算）を実施しています。PRの方法としては、東京エアターミナルでのPR活動やふるさと回帰支援センター（東京交通会館内）で開催予定の定住促進セミナーでのPR活動のほか、（一社）移住・交流推進機構（JOIN）ホームページを活用して、東京圏への情報発信を行っています。また、市内の宅地建物取引業者や不動産業者への周知を図り、家庭菜園整備と住宅新築等補助とともに、生垣奨励補助も併せて推進してまいります。 ②シティプロモーション専用サイト「プチハピしもつけ」において、両制度についての情報を掲載しました。

※参考：評価分析シート（平成29年度）

重要業績評価指標(KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
24	新規住宅取得者家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助件数 (対象要件を満たす家庭菜園整備及び定住促進住宅新築等補助の件数)	年度目標値	0件	10件 (延10件)	20件 (延30件)	20件 (延50件)	延70件
		実績値	—	5件 (延5件)			
		達成度	—	C			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	本件については東京ソラマチを中心に積極的にPR活動に努めてきた。しかし、東京圏在住者に限定したことや、どうしても敬遠されがちな除草作業などが原因と考えられるが、目標値の半分に留まってしまった。今後は、平成29年度に創設された定住促進住宅新築等補助が付け加えられ、充実したことをPRしたい。					
担当課	都市計画課						



KPI	37 観光自転車利用者数
委員名	山口（貴）委員
意見・提言内容	実績値が好調に伸びている中、県内では平成 30 年度にデスティネーションキャンペーンがあり、利用者数のさらなる増が期待される。そのため、目標値を上方修正してほしい。
担当課	商工観光課
回答・対応	<p>現在、市内 5 か所で貸し出しを行っている観光自転車は合計 37 台。自転車の実利用台数は、平成 26 年度 683 台、平成 27 年度 1,141 台、平成 28 年度には 1,469 台と年々増加傾向にあります。</p> <p>来年 4～6 月の「デスティネーションキャンペーン」に向け、県では、二次交通に係るアクセスの改善と観光客の満足度を高めることを目的に、二次交通支援事業（補助率 1/2、上限 100 万円）を実施しております。</p> <p>市では、この補助制度を活用して、今年度中に約 20 台の電動アシスト付き自転車の導入を計画しています。これにより、地域内周遊の利便性を高められ、観光誘客の促進が期待できます。</p> <p>今後観光自転車の利用はさらに増加すると見込まれるため、観光自転車利用者数の目標数値について、平成 29 年度 1,600 人、平成 30 年度 1,900 人、平成 31 年度 2,000 人に上方修正いたします。</p>

KPI	37 観光自転車利用者数
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	自転車の数が目標値に見合うものなのかどうか検討すると言及されていたが、しっかり考えてほしい。また、電動アシスト自転車の導入も考えてはどうか。宇都宮駅前がよく自転車を借りるが、電動アシスト自転車も置いてあり、少し値段は高いがよく借りられている。
担当課	商工観光課
回答・対応	<p>来年 4～6 月に JR6 社と地域が協働で取り組む、国内最大規模の観光キャンペーン「デスティネーションキャンペーン」が展開されるにあたり、近隣市町においても、二次交通の充実を図るため、電動アシストの導入が進められています。</p> <p>本市においては、現在、市内 5 か所で観光自転車の貸出を行っていますが、所有台数合計 37 台の内 19 台は放置自転車の再利用です。自転車の実利用台数も年々増加傾向にあり、貸自転車の内容の充実が求められています。</p> <p>県では、DC 本番に向け、二次交通に係るアクセスの改善と観光客の満足度を高めることを目的に、二次交通支援事業（補助率 1/2、上限 100 万円）を実</p>

	施しており、この補助制度を活用して、今年度中に市内に約 20 台の電動アシスト付き自転車の導入を計画しています。これにより、地域内周遊の利便性を高められ、観光誘客の促進が期待できます。
--	--

KPI	57 休日保育事業実施園数
委員名	島田委員
意見・提言内容	市のホームページでは、あおば保育園とむつみ愛泉こども園の 2 か所で実施と掲載されているが、保育園のホームページを見ると月曜日から土曜日までの保育についての記載のみで、日曜・祝日について休日保育を行っている旨の記載がない（実際に、休日保育は実施されているのか）。
担当課	こども福祉課
回答・対応	<p>休日保育については、あおば保育園とむつみ愛泉こども園の 2 園で実施しておりますが、各園のホームページに掲載はしておらず、入園前の施設見学や入園の説明等の際に利用案内を配布し周知を図っているところであります。</p> <p>利用実績につきましては、あおば保育園は平成 27 年度 93 人、平成 28 年度 153 人となっております。</p> <p>むつみ愛泉こども園については、平成 27 年度、平成 28 年度ともに利用者がなく、園に確認したところ申し込みがない状況にあるとのことです。申し込みがない原因の一つとして周知不足が考えられますので、ホームページ等を活用し更なる周知啓発に努めるよう指導したところであります。</p> <p>各園のホームページに休日保育について掲載された際には、市のホームページにリンクを貼り、周知徹底に努めてまいります。</p>

KPI	58 夜間保育事業実施園数
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	「利用者のニーズの把握に努める」とあるが、平成 31 年度には 1 か所の目標値が示されている。現在どのような状況であるか教えてほしい。
担当課	こども福祉課
回答・対応	<p>平成 26 年度に市子ども・子育て支援事業計画を策定しましたが、その際に実施したニーズ調査において、夜間保育事業のニーズがなかったこともあり、現在のところファミリーサポート・センターの利用をもって対応したいと考えております。しかしながら、平成 28 年度及び平成 29 年 9 月までの利用はありませんでした。</p> <p>なお、利用者のニーズの把握につきましては、平成 31 年度に策定する次期市子ども・子育て支援事業計画のアンケート調査を平成 30 年度に実施する予定でありますので、夜間保育事業のニーズ等についても調査したいと考えております。</p> <p>アンケート調査の結果等を考慮しながら、次期計画の目標値を定めたいと考えております。</p>

※参考：評価分析シート（平成 29 年度）

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
58	夜間保育事業実施園数	年度目標値	—	—	—	—	1か所
		実績値	—	—			
		達成度		—	—		
平成28年度の取組と実績値の分析 及び今後の取組		夜間の預りは、ファミリーサポートセンターの利用により対応している。引き続き利用者のニーズの把握に努める。					
担当課	こども福祉課						

KPI	70 出会いふれあいサービス事業利用者数
委員名	三橋委員
意見・提言内容	今まで、出会いふれあいサービスを利用していたすべての方が、一般介護予防事業を利用するとは思えない。事業名が変わってしまうと、行かなくなる高齢者の方もいるはずである。出会いふれあいサービスは利用していたが、一般介護予防事業には参加されていない方やその人数等を把握することが、今後の介護事業の参考にもなるので、調査をお願いしたい。
担当課	高齢福祉課
回答・対応	<p>「出会いふれあいサービス事業」は、閉じこもり防止を目的として、70歳以上のひとり暮らし高齢者を対象に3地区月1回ずつ実施してきました。しかし、平成27年度の介護保険法の改正により一般介護予防事業の考え方が変わり、対象を65歳以上とし、閉じこもり防止の目的から、外出の交通手段が確保しにくい虚弱高齢者を対象に送迎付きでサロンを実施することへ変更しました。現在、3地区それぞれ1か所ずつ送迎付きふれあいサロンを週1～2回で実施しています。より支援が必要な高齢者には、サービスが行き届くよう地域包括支援センターの協力を得て対象者のスクリーニングも実施しています。</p> <p>一方、ひとり暮らし高齢者で交流を求めている方に対しては、近所の地域ふれあいサロンの利用を勧めています。徒歩圏内で気軽に参加できる居場所として地域ふれあいサロン活動が活発化されるよう、地域包括支援センターと協働で支援しています。</p> <p>出会いふれあいサービス事業利用者の一般介護予防事業への移行状況を調査し、その動向を確認した上で対策を検討していきます。</p>

KPI	72 認知症サポーター数
委員名	小島委員
意見・提言内容	延人数である以上、実績値が下がるということはない。平成29年度時点において、すでに延5,000人を超えているので、目標値をさらに上方修正してほしい（目標は高く、延7,000人してはどうか）。
担当課	高齢福祉課
回答・対応	<p>平成25年度から精力的に実施し、9月末現在で5,441人となっております。養成講座受講者は年度によってばらつきは見られますが、年間700人から800人のサポーターを養成しているところです。</p> <p>平成29年度末には、6,000人に到達する予測と見込んでいますので、平成30年度は、6,800人、平成31年度は7,600人と目標値を修正させていただきます。</p>

※平成 29 年 3 月：目標値を 4,000 人から 5,455 人に上方修正。

※第 1 回総合計画審議会（中村会長）より

「上方修正する場合には、上方修正したことが分かるように記載した方が見せ方としてよいと思われる。」

KPI	80 特定健康診査受診率
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	平成 27 年度、平成 28 年度ともに大きく年度目標値を下回る実績値となっている。どのように平成 29 年度は 60%に近づけるのか。生活習慣病で定期的に受診している患者は、そのクリニックでの検査データを提出することで特定健康診査の代替としてはどうか。
担当課	市民課
回答・対応	<p>平成 28 年度より、受診勧奨事業を実施しており、平成 28 年度は、受診率 44.7%の最終実績となった。平成 29 年度も、受診者別に対応したダイレクトメール等を郵送する等、勧奨事業を継続して実施しており、更なる受診率向上を目指し取組んでいるところです。</p> <p>国は、「特定健康診査等実施計画」を平成 30 年から 35 年の計画を作成するとしており、その計画の中で、医療機関との適切な連携（診療における検査データの活用）を明記しています。市としては、県と協力をしながら、医療機関からのデータ活用が円滑に出来るよう、関係機関との協議を進めてまいります。</p>

※参考：評価分析シート（平成 29 年度）

重要業績評価指標 (KPI)		基準値	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	目標値 平成31年
80	特定健康診査受診率	年度目標値	52.2%	56.1%	60.0%	60.0%	60.0%
		実績値	42.7%	43.0%			
	(対象者:40歳～75歳未満)	達成度	B	C			
	平成28年度の実績と実績値の分析及び今後の取組	<p>平成28年度は、特定健康診査の受診率向上を目指し、栃木県国民健康保険団体連合会が実施主体となる特定健診受診率向上支援モデル事業のモデル保険者として、不定期受診者や未経験者（過去に一度も受診していない方）を対象に受診勧奨事業を実施した。今後も28年度と同様に、受診勧奨事業を実施し、受診率の向上に努める。</p> <p>国は「特定健康診査等基本指針」において、29年度の目標値を60%に設定したが、全国的に見ても目標値と実績値に開きがある状況にある。</p> <p>本市の特定健診受診率は、国や県に比べて高いが、上記の理由から28年度の目標値を56.1%に設定しているため、達成度は76.6%であり、C評価となる。</p>					
担当課	市民課						

KPI	86 講座・講演会の年間受講者数
委員名	鈴木委員
意見・提言内容	総合戦略の中においても、「学習成果の社会還元による協働のまちづくりを支援」と記載があるので、社会還元となる講座をさらに増やしてほしい。超高齢社会にあたり、どう市民を協働させていくか。そのためには、学ぶ機会が重要であり、そこで学んだ学習成果を社会還元していけるよう、教育委員会に限らず、学ぶ機会をさらに増やしてほしい。
担当課	生涯学習文化課
回答・対応	<p>学習成果の社会還元として、生涯学習情報センターの生涯学習ボランティアバンク及び学校支援ボランティアバンクに登録し、知識や技術を活かした自主企画講座の講師を務めるなど、市民がまちづくりに参画できるよう支援をしておりますが、さらに学びを活かす場を広げるため、関係機関との連携を図ってまいります。</p> <p>また、平成30年度の生涯学習実施計画では、協働のまちづくりを実現するために、各課で実践的な活動に向けた各種ボランティア養成講座の充実を図ることとしました。今後も各部署と連携を図り、生涯学習の充実を進めてまいります。</p>

KPI	98 しもつけ風土記の丘資料館入館者数
委員名	鈴木委員
意見・提言内容	市内には、しもつけ風土記の丘資料館のほかに、薬師寺歴史館がある。そちらの入館者数はどのような状況となっているのか教えてほしい（平成27年度、平成28年度の状況）。
担当課	文化財課
回答・対応	<p><b>【しもつけ風土記の丘資料館】</b>  H27：18,671人 H28：19,292人  入館者の属性：市内・県内小学校（主に小学6年）、  県内外公民館講座や博物館・資料館友の会の見学者</p> <p><b>【下野薬師寺歴史館】</b>  H27：7,967人 H28：8,191人  入館者の属性：薬師寺小学校（連携事業の実施）、市内小学校の見学、  県内外公民館講座や博物館・資料館友の会の見学者、  道の駅しもつけ・自治医大病院利用者等</p>

KPI	106 公共交通の整備の取組の満足度
委員名	島田委員
意見・提言内容	<p>平成 28 年度より、デマンドバスの日曜日の運行が無くなり、一部運行時間帯も変更されたが、全体の利用者数は減ったと認識している。利用者が減ったということは、満足度が下がったということではないか。また、3 地区を各 1 台のデマンドバスで運行をしているが、南河内地区の利用者は、石橋地区や国分寺地区の利用者の倍もある。現行の運行形態では満足度が上がるとは思えない。見直しを検討すべきである。</p>
担当課	安全安心課
回答・対応	<p>平成 28～29 年度の運行については、平成 26 年度に実施した利用者アンケートや実態調査を基に効率などを含めた検討の結果、利用者の少ない日曜日や早朝の時間帯の運行を改善しました。</p> <p>また、南河内地区の利用者数については、高齢者福祉サロンの利用者が集中する時間帯があり、一般の利用者が利用しづらい状況が生じたため、平成 29 年 4 月から高齢福祉課で専用バスの運行を行っておりますので、地域ごとの不便さは解消されております。</p> <p>今後は、市民により利用していただけるよう市民ニーズの把握に努めると共に、高齢者が集う事業や広報等において P R を進めていきます。また、平成 30 年度以降のデマンドバス運行形態を含めた市内の公共交通のあり方や、広域的な公共交通ネットワークについても引き続き「下野市公共交通会議」において検討を行ってまいります。</p>

### 3. その他

内容	目標値が「回数」になっている KPI の項目全般について
委員名	前原委員
意見・提言内容	KPI の目標値が「回数」となっている項目については、何回行ったかという「結果」も大切であるが、それを行ったことで、どのような「効果」があったのかが最も重要である。評価・分析シートには「効果」についても記載すべきである。
担当課	総合政策課
回答・対応	KPI そのものが「数値」により示すことのできるものを指標として設定することとされているため、そのような指標の設定になっています。 ご意見のとおり、効果について検証することも重要ですので、できるかぎり評価分析シートに記載いたします。

内容	薬師寺の VR について
委員名	中村（節）委員
意見・提言内容	VR と聞くと、多くの方はゴーグル装着型のものを想像する。タブレットで見るタイプのものだけではなく、ゴーグル装着型のタイプのものも検討してほしい（ゴーグルにスマートフォンをはめ込むことで装着型にできるものもある）。
担当課	文化財課
回答・対応	装着タイプの場合、視界が遮られることによって転倒などの事故やけがにつながる危険があることから、タブレットタイプを導入しました。